

平成 30 年度 すてっぷ利用者アンケート調査結果報告

【アンケート調査の目的】

「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷの管理運営に関する基本協定書」第 28 条に基づく自己モニタリングの実施及び指定管理者としての業務改善に役立てるために実施しました。アンケートの回答者は、講座受講者、情報ライブラリー利用者、相談利用者、貸室利用者、ロビー利用者と、幅広い層に呼び掛けました。

＜部署ごとのアンケート＞回収数

総務：168 枚、講座：75 枚、情報：89 枚、相談：69 枚

【アンケートの実施期間】

平成 30 年 11 月 1 日（木）～平成 30 年 11 月 30 日（金）

《*情報のみ蔵書点検期間を除き、追加にて 12 月 10 日（月）～12 月 23 日（日）

【アンケートの調査方法、対象者】

- ① 貸室受付、ライブラリーカウンターに来た人に調査票を配布しました。
- ② 主催講座の受講生に調査票を配布しました。
- ③ 相談室利用者に調査票を配布しました。
- ④ キッズスペース・授乳室・印刷コーナーなどロビー利用者、ライブラリー利用者に調査票を配布しました。
- ⑤ 平成 30 年 4 月から 12 月までの講座や保育つきライブラリーのアンケート結果を活用しました。

【アンケートの調査票 回収数】 401 枚

【アンケート調査票】 別紙 1

【アンケート質問一覧】 別紙 2

【アンケートの集計データ】 別紙 3

1. 利用者像

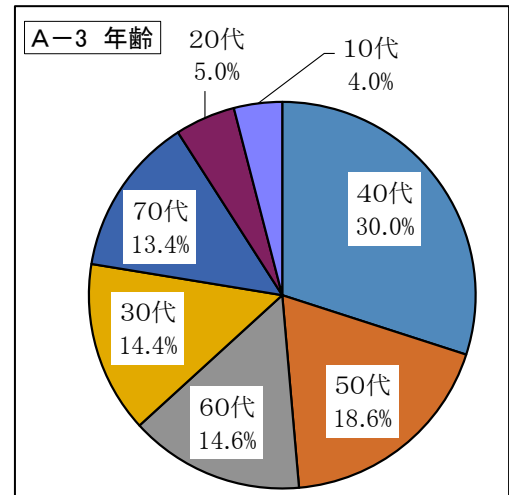
(アンケート設問 A-1～11)

中心利用層は豊中市在住の 40 代以上の女性 子育て世代、シニア世代が半数近く

回答者の性別は、女性 83.8%、男性 15.4%で、圧倒的に女性が多く男性の約 5 倍でした。年齢は 30～40 代の子育て世代が 44.4%、50 代以上シニア世代は 46.6%となりました。

住まいなど属性については、豊中市在住が 70%以上で、地元市民が多数を占めています。

また、「すてっぷにきてよかったこと・助かっていること・役に立ったこと」をたずねた設問では自習に関して、役に立っているという記述が多くありました。



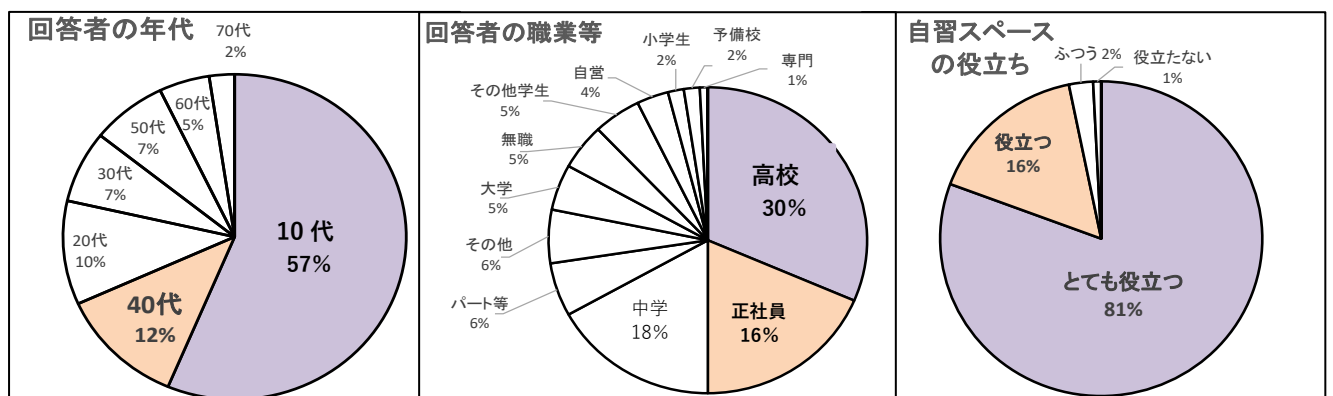
今回は、自習室Myすてっぷの利用者に対して調査票を配布しなかったため 10代は 4.0%となり、昨年度が 10.4%であったことから考えると 10代は、自習目的に特化していることがわかります。

若年層への一層の働きかけが、10 年後 20 年後の利用者となることを考慮し、今後の取り組みや企画を検討する必要があると考えられます。

【ご意見事例】(E-1 より抜粋)

回答者属性	内容
【女性・40 代】	むすこが(中3)自習する所がなくてこまっている時、ここをみつけて助かりました。いつもありがとうございます。
【女性・10 代】	とても静かで自習がしやすいです。家で勉強できない時や学校の帰りに自習できるのでうれしいです。

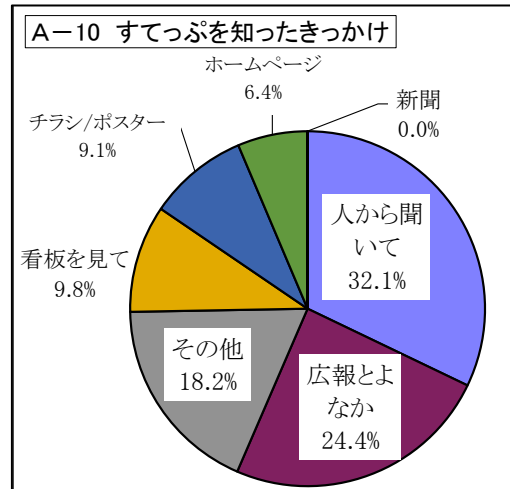
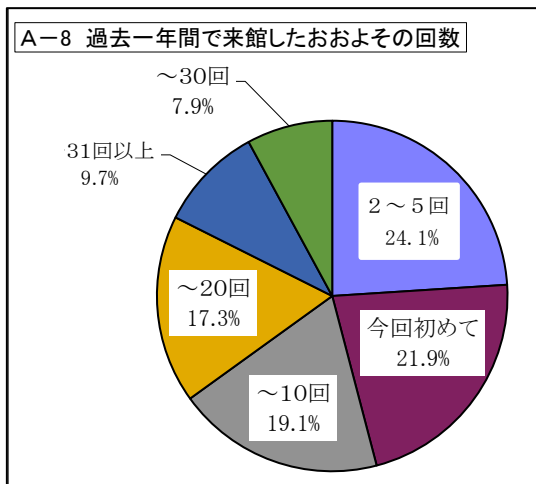
【参考：2018 年 8 月実施の自習室においてのアンケートより】



2. 男女共同参画の推進について

(アンケート設問 B-1)

すてっぷが男女共同参画推進の施設だと知っている人は半数以上



すてっぷが男女共同参画推進のための施設だと「知っていた」人が 53.4%と半数以上で、「知らなかった」人は 29.4%でした。「すてっぷに来て知った」人が 17.2%であることから、「知らなかった」と回答した人についても、今回来館したことで、知る機会になったと考えられます。

また、過去1年間での来館回数を尋ねた設問では、「今回初めて」が 21.9%となっています。まだ施設を知らない人への周知とともに、何かのきっかけで来館した利用者に、リピーターとなってもらえるよう、さらなる魅力ある事業展開等が必要であると考えます。

すてっぷを知ったきっかけは「人から聞いて」が最も多く、80%近くがリピーターであることから、口コミにより施設の情報が広がることも考慮し、今後も講座やロビー展示の情報を通し、男女共同参画の趣旨をわかりやすく伝える工夫をしていきます。

自由記述には、施設の目的を理解し有益に利用しているという意見も多数ありました。

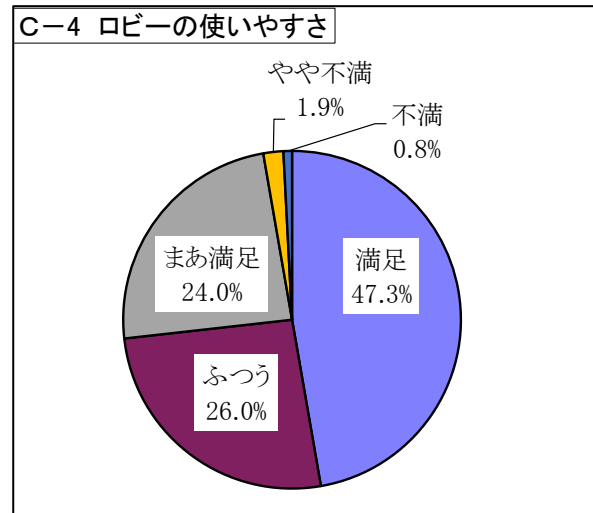
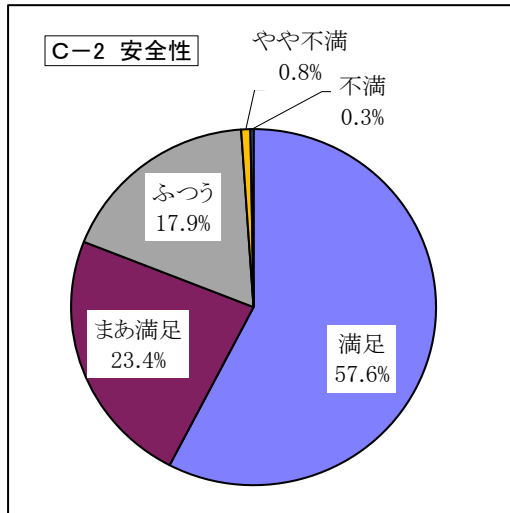
【ご意見事例】(E-1, 2 より抜粋)

回答者属性	内容
【女性・30代】	団体のミーティングに使わせて頂き、ありがとうございます。女性問題、家族問題の本がたくさんあり、勉強になります。キッズスペースがあるので、子どもがいても自分のやりたいことができます。自分の力を社会の役に立てることにチャレンジできますし、子育て中の孤立感もなく、楽しく生活できています。豊中駅直結なので気軽に立ち寄れるのもありがたいです。色んな団体さんが活動していて、豊中で世界が広がるのも面白く、すてっぷさん主催講座も興味深いものばかりで、嬉しいです。
【女性・40代】	絵本やDVDがきちんと男女共同参画という視点から選ばれてライブラリーで提供されているなと思います。ロビーのチラシをみるのも好きです。ライブラリーでは、その時その時特集をくんでいる(今はLGBT)ので、いろんな本をみる機会になってうれしいです。
【女性・50代】	初めて来て、心地よい空間に驚きました。今まで知らなかったのが悔やまれるくらい。お世話になります。
【女性・70代】	ここに来させていただいて、エネルギーがたまってきました。感謝しています。

3. 施設管理について

(アンケート設問 C-1～5)

**清潔さ・安全性については高い満足度を維持
館内表示・ロビー利用は見直しの余地あり**



「清潔さ」「安全性」を尋ねた各設問での「満足」「まあ満足」は、どちらも80%を超えました。施設の設備や備品の老朽化により不具合や汚れは増えてきていますが、引き続き館内の美化・清潔感維持を日常的に取り組んでいきます。

「館内の表示」「ロビーの使いやすさ」についての「満足」「まあ満足」は昨年とほぼ同じ数値となりました。ロビーでの自習学生が多く、テーブルをグループ活動で使えないことへの不満や、湯沸室の衛生面についての意見もありました。

多様な人が利用するロビーですが、お互いゆずり合ってお使いいただけるよう、今後も利用者からの声や意見に積極的に耳を傾けるとともに、日々の業務の中での点検に注力し、一人でも多くの方に気持ちよく使ってもらえるよう工夫を重ねていきます。

【ご意見事例】(C-5 より抜粋)

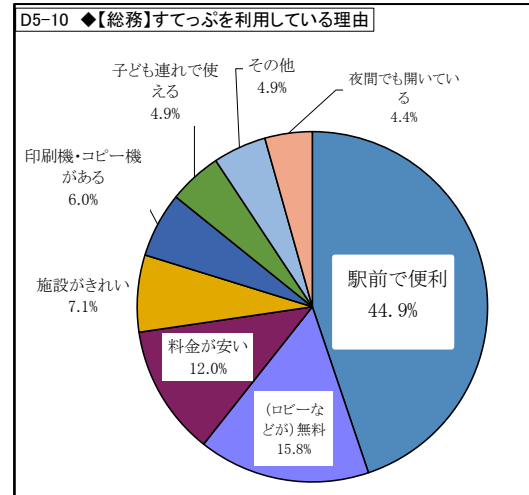
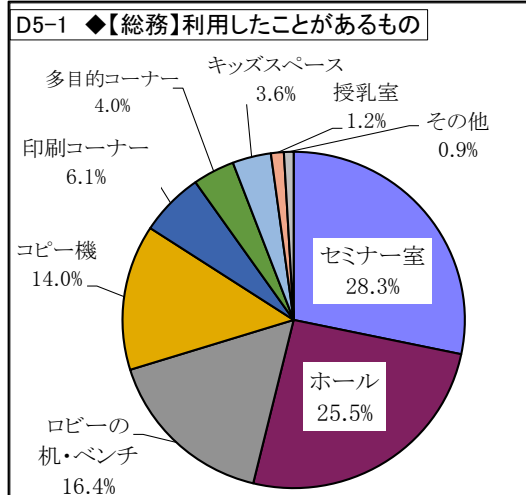
回答者属性	内容
【女性・40代】	チラシがあちこちに置いてあって紙のムダだと思う。
【女性・40代】	少し暗いので、気持ちが下がる。
【女性・70代】	館内の表示をもう少し早くして(掲示)ほしい。(湯沸室)湯呑が茶しぶがついているから清潔にしてほしい。
【女性・40代】	自習でよくロビーを使われていますが、図書館に移動してもらってもよいのではないのでしょうか。もう少し、シニアや子育て世代が集えるとよいかもしれないと思っています。
【女性・50代】	清潔感があり、プライベート、個人情報も、守られている感じがしてよい。
【女性・50代】	お子さんがあそべるスペースがあつていいと思います。今度、娘にも、画像を送って、あそびに来てもらおうと思っています。

4. 貸室事業、総合カウンター業務について

(アンケート設問 D5-1～12)

貸室利用の満足度維持・窓口対応の満足度は高い

(1) 施設・有料貸室利用について

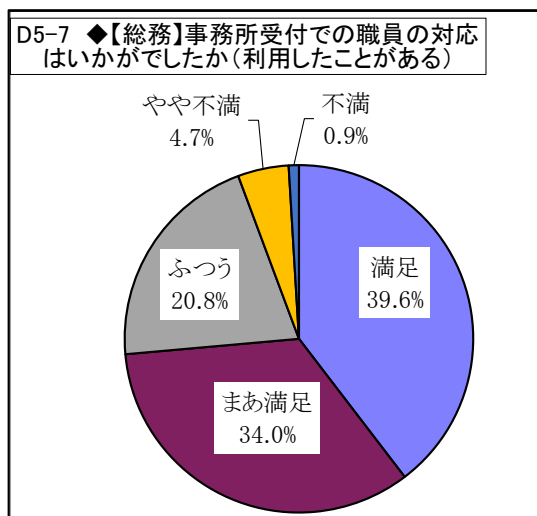


利用したことがあるものについては、貸室が 53.3%で、フリースペース等が 46.2%となり、来館者全体の半数近くを占めています。「満足」「まあ満足」が 71.4%となり、貸室利用者の満足度は高い水準を維持できました。

開館 18 年を経過し、古くなった貸室機器設備の更新が難しい状況の中、ホールやセミナー室でのイベント等においては、個別ニーズの聞き取り、事前打合せや機器の接続テスト、利用者自らが簡便に接続できるマニュアルの作成、催し当日の進行に合わせた操作機器の使用説明を行うなどして、利用者不便の緩和や、利用者離れを防ぐよう努めています。

駅前という立地の良さや夜間まで開館している点など、利便性の高さも満足度につながっていると思われます。

(2) 総合カウンターについて



受付での職員の対応については、「満足」「まあ満足」は 73.6%で、概ね満足していると思われます。

貸室受付において「鍵の受渡しを 5 分前ではなくもう少し早くしてほしい」との意見が複数ありました。しかし、清掃、ホールの転換・備品入替作業、パーテーション開閉作業等を安全・確実に行うために時間の確保が必要ですので、今後も利用者への理解を求めています。

運用について、男女共同参画目的での使用の場合では「視聴覚室など大きい部屋しか空いてなくて、少人数で利用する時は、6階の部屋を借りられるようにしてほしい」等、とよなか国際交流センターとの相互利用についての要望が多くなっています。

課題と今後の取組み

「利用者目線」の使いやすい施設に

貸室の申込手続きや利用について、運用や設備・環境など多岐にわたる意見がありました。利用者の目線を第一に考え、できるだけ多くの市民に「使いやすく」「親しみ」ある施設として利用してもらえよう努めていきます。

また、「男女共同参画」「国際交流」と、設置目的の違う施設ではありますが、今後は、相互利用について職員同士の情報共有、貸室ルールや対応の共通化など運用レベルでの検討を重ね、とよなか国際交流センターとの連携に取り組めます。

【ご意見事例】(D5-12、E-2 より抜粋)

回答者属性	内容
【女性・60代】	豊中に用で来た時、時々利用させていただいております。スタッフの方の対応も良く、静かに過ごせる、ホッとする場所
【女性・60代】	きれいだし、親切だが鍵を渡してもらえるのが5分前というのが困る。もう少し前に渡してほしい。
【女性・50代】	すてっぶの貸室が満室でないと、上階の交流センターの部屋が一般貸室になること(大きな部屋しか空いていない時)
【女性・70代】	職員の部屋の壁をとって下さったら、もっと親しみがわくと思います。
【男性・60代】	男女共同参画推進でなかったら極めて利用料金が高いのがおかしいと日ごろから思っている。
【女性・40代】	WiFiがあればいいと思います。PC用コンセント。駐車料金のサービス。
【男性・70代】	トイレの近代化

安心・安全な施設管理

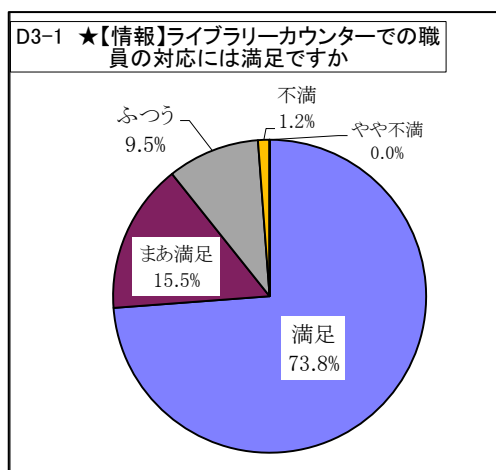
今年度は、施設の老朽化のうえに、地震や大型台風など、災害による設備の故障が相次ぎました。安全面においては、日々の巡回や点検等を通して、異常の早期発見、被害の最小限化に努めるとともに、引き続き警備・清掃の委託業者やエトレ防災センターとも連携を図りながら、安心・安全な施設運営に取り組めます。

5. 実施事業について

(1) 男女共同参画の推進に関する情報の収集および提供

(アンケート設問 B5、B7、D3-1～10)

ライブラリーカウンター対応および環境は高い満足度を維持 (D3-1、D3-2、D3-3)

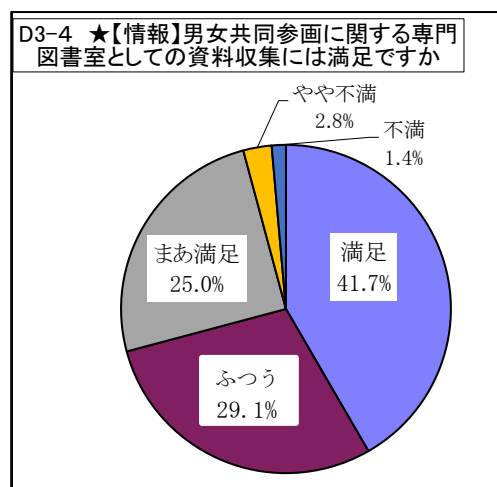


「カウンターでの職員の対応」については「満足」「まあ満足」と合わせると 89.3%で高い評価を維持しています。一方「不満」「やや不満」の合計が 1.2%で、昨年度 (3%) より下がっていることは、職員が丁寧な接遇を心がけた結果だと考えられます。

また、「ライブラリー内では落ち着いて快適に利用できるか」という設問に対しては、「できる」「まあできる」と合わせて 93.9%となり、昨年度 (89.9%) より高い数値を示しています。

専門図書室としての一定の満足度を維持 (D3-4、D3-5)

「専門図書室としての資料収集」について「満足」「まあ満足」の合計が 66.7%で昨年度 (58.7%) より上がり、一定の満足度を得ています。「不満」「やや不満」の合計は 4.2%、昨年度 (2.2%) より微増しました。自由記述では、「専門図書館としての蔵書が充実していて勉強になる」「女性の色々な問題の本を読んで多くの情報を知った」という意見がありました。今後も専門図書室として利用者の役に立つ資料の収集に努めていきます。



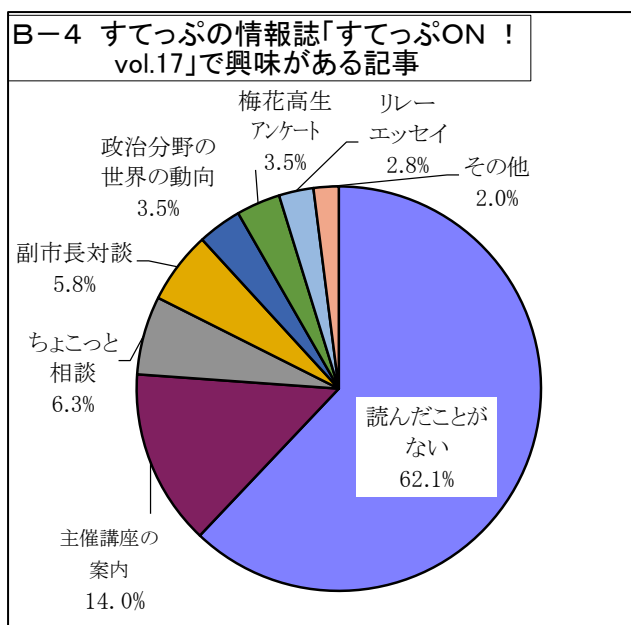
各コーナー図書の展示の工夫と継続 (D3-6)

各コーナー図書の展示やPOPの参考度を問う設問に対しては、「参考になる」「まあ参考になる」の合計が 70.5%で、昨年度 (61.7%) より大きく上昇しました。また、展示やPOPを「知らなかった」は 15.4%と、昨年度 (22.3%) より減少しています。テーマに沿ったPOP等を作成して関連する本を展示する、カウンター前の面出し展示なども効果の表れだと考えられます。今後もさらなる工夫をし、継続していきたいと考えます。

パネル展示の周知と評価 (D3-7)

ライブラリー内やロビー、ホール廊下において、独自に作成したジェンダー統計パネルや、所蔵ポスターを定期的に展示しています。このパネル展示の参考度を問う設問では、「参考になる」「まあ参考になる」の合計が 64.4%、昨年度 (51.5%) と、上向きました。目に留める利用者が徐々に増えていることが確認できました。

情報誌「すてっぷ ON ! vol. 17」の内容において検討の必要性 (B-4)



情報誌「すてっぷ ON ! vol. 17」を、本アンケートと共に配布しました。

「読んだことがない」が依然として多く 62.1%でした。

今後も、積極的に利用者配布し、メルマガやSNSなどでも周知に努め、男女共同参画センターとして発行している目的や意義が伝わり、広く関心を持ってもらえる情報誌になるよう工夫を続けます。

ホームページの利用状況について (B7-1)

ホームページで利用する項目として、1番多かったのは講座情報で 14.8% (昨年度 17.0%) で、2番目に多かったのは空き室状況で 11.0% (昨年度は 9.6%)、3番目が講座の申し込みで 5.7% (昨年度は 7.3%) でした。昨年度からほとんど数値は変化がありません。しかし、4番目の相談室が 5.5% と 6番だった昨年度の 3.3% からわずかながら数値が上がっています。さらなる周知に努めます。

ライブラリー自習について (D3-8)

「ライブラリー自習」については、「利用したことがある」が 37.8%、「利用しようと思う」が 12.2% と、昨年度の 2つの設問を合わせた数値の 65.2% より下がっています。自由記述では自習利用が役立っているという回答も複数あり、若年層については、自習利用がすてっぷ利用の動機づけとなっています。

イベントへの高い期待値・人のあつまるライブラリーへ (D3-9、D3-10)



絵本の読みきかせ

「ライブラリー主催のイベントでどんな内容なら参加してみたいですか」の設問に対して「映像資料上映会」が36.2%（昨年度37.8%）、「リサイクル本の配布」が24.1%（昨年度16.8%）と9月に実施したライブラリーまつりが人気のあるイベントであることがわかります。朗読会、読み聞かせ等も一定の人気がありました。

また、定期的に行っている保育つきライブラリー、パパタイムといったイベントにも新しい参加者が増えてきています。

課題と今後の取組み

専門図書室としての周知と利用者目線の情報発信の必要性

自由記述において、「落ち着ける環境」「利用者対応」については、高い満足度を維持しています。今後も専門図書室としての周知を図り、利用者層の拡大のための取組みや工夫をしていくとともに、引き続き専門図書室にふさわしい資料収集に努めます。

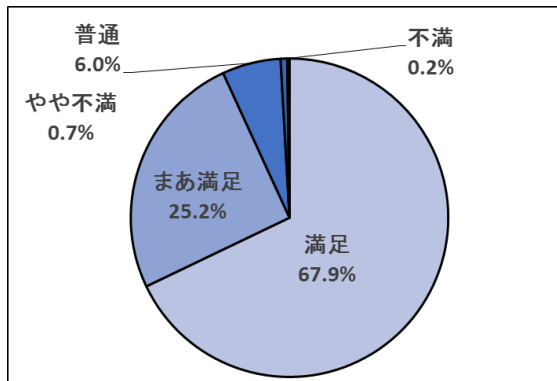
専門性のある情報発信として、ホームページ、ジェンダー統計パネルの作成などはもちろんのこと、利用者の関心に応えられるような情報提供の方法を考えていきたいと思います。情報誌、インターネット、掲示等メディアごとの特色を生かし、より伝わりやすく、関心をもってもらえる工夫を心がけます。

一方で「子どものスペースを設置したり、読み聞かせをするよりも、利用率が低くても専門的なスペースとして充実してほしい」という記述がありました。ライブラリー内でイベントを行う際に、利用者への配慮を心がける必要があることがわかりました。事前に十分な告知の期間を設ける等、利用者の理解を得られるような実施を工夫していきます。

（２）男女共同参画の推進のための講座等の開催

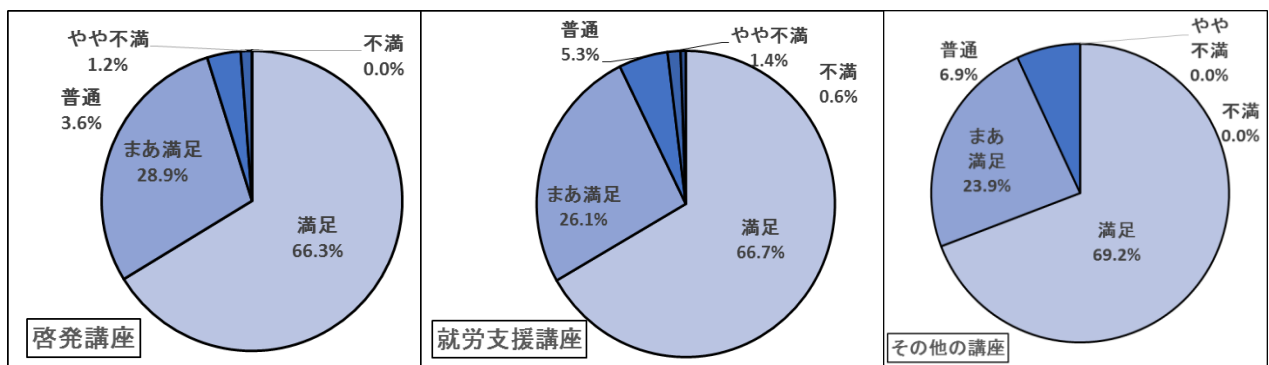
講座参加者の高い満足度を継続

（４月～１２月実施講座内アンケートより）



講座の内容について、参加者の93.1%が「満足」「まあ満足」と回答し、例年通り高い満足度を得ています。また、「やや不満」「不満」の回答は1%に満たない値となりました。

講座を啓発講座・就労支援講座・その他講座に分けて満足度を見ていきます。



- ・男女共同参画週間事業講演会
- ・女性への暴力防止の講座「被害者を責める声はどこから生まれるのか」など

- ・働く女性のスキルアップ講座
- ・就活&Excel 検定対策講座（受託事業）など

- ・男女共同参画への入口としての企画トキドキすてっぷ
- ・人間関係がしんどい女子の交流会（自主事業）など

3分野はいずれも「満足」「まあ満足」の回答が9割以上を占める結果となっています。参加した市民の期待に沿う実施内容であったことが高評価につながった、と考えられます。「やや不満」「不満」の回答は2%以下でした。各講座アンケートでは「関心の高いテーマで参考になった」「学びになった」「考えるきっかけとなった」「聞きたいことが聞けて良かった」といった感想がありました。今後も市民のニーズの把握に努め、期待に応えられるように講座を企画、実施していきます。

多岐にわたる講座のニーズ

（アンケート設問 D2-1）

アンケートでは例年ニーズの高い就労支援講座に加えて、起業や個人事業主に対する講座、子育てや介護に関する講座など、具体的な希望が多岐に渡って出ています。また自由記述では「つながりがほしい」という人と人との出会いの機会や居場所を求める意見もありました。

職員によるサポートに対する満足度の高さ

(アンケート設問 D2-2)

講座での職員の対応は「満足」「まあ満足」が91%となり、昨年度と同じく高い水準を維持しました。「やや不満」「不満」と答えた人は3%でした。参加する市民のサポートができていていると考えられます。今後も市民への丁寧な対応に努めます。

課題と今後の取り組み

地域の課題を発見し、講座へつなげる

昨年度行った女性の労働に関する調査研究事業「シングル女性の仕事と暮らしのニーズ調査」を通して明らかになった課題を、今年度のすてっぷゼミナール(2回)につなげました。タイトルを「シングル女性の住宅事情」として、住まいの賃貸と購入のちがいについて基礎を学ぶ講座、誰かと一緒に暮らすということを考えるシェアハウスについて学ぶ講座を開催しました。

ゆるやかに集える居場所と仲間づくりを継続

昨年度は男女共同参画への入口として「ツキイチすてっぷ」をスタートし、映画鑑賞と感想会、ブックトークなど気軽に参加して交流できる催しを実施しました。年齢や性別を問わない、ゆるやかに集える居場所として今年度は「トキドキすてっぷ」として継続して行いました。

市民のニーズを反映した講座

アンケートで毎回ニーズの高い就労支援講座や起業支援講座を今年度も実施し、女性の労働への参画推進に取り組んできました。次年度も、働く女性がスキルアップできる講座や再就職につながる講座を継続します。また、市民が必要とする講座の実施に向けて、アンケートで希望の挙がっているテーマや講師を参考に企画を検討します。

市民への広報活動を推進

講座の案内を配信しているメールリングリストへの登録は700件を超えました。ホームページ掲載、SNSを用いた発信、講座内での告知、来館者への告知、ポスター掲示、チラシ配布、マスコミ・ミニコミ掲載、類似したテーマで過去に受講した人への案内送付、すてっぷ会員への案内送付など、さまざまなツールで広報を行っています。今後も市民が必要としている情報が届くように、広報を工夫します。

(3) すてっぷ一時保育

(アンケート設問 D2-4)

一時保育への高い評価

一時保育について「わからない・利用したことがない」との回答が62.1%と最も多く「とてもよい」「よい」と回答した人は36.4%でした。一時保育利用者の多くは一時保育を高く評価しています。

課題と今後の取組み

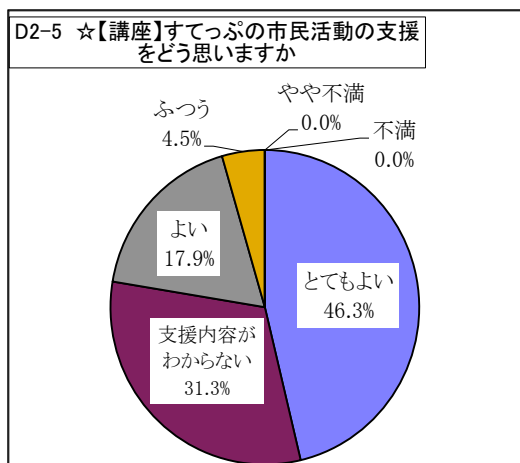
子育て世代の講座参加をサポート

主催事業のほとんどは、一時保育を設定するか子ども連れで参加できるようにしています。今後の講座についても、子育て世代が積極的に参加できるようにサポートしていきます。

（４）男女共同参画の推進のための市民活動の支援及び交流の場の提供

（アンケート設問 D2-4）

「市民活動支援」について知っている市民からは評価されている



すてっぷの市民活動支援について64.2%が「とてもよい」「よい」と回答しました。昨年度より減少していますが、これは「わからない」の回答数が大幅に増えたためと考えられます。「不満」「やや不満」の回答はありませんでした。

このことから市民活動に関わっている市民、事業を知っている市民からは、すてっぷの市民活動支援は高く評価されていますが、支援について知らない市民が多くいることがわかります。

課題と今後の取組み

市民活動支援の周知

すてっぷは男女共同参画を推進する市民活動の拠点施設であり、すてっぷ登録団体制度、自主グループ、協賛事業、後援事業、助成金事業等、活動状況に応じて利用できる市民活動支援制度があります。これらの制度は講座やホームページ、チラシ等で紹介していますが、さらに周知していく必要があります。より多くの市民に市民活動支援を活用してもらえるように、制度の意義とメリットをわかりやすく説明していきます。

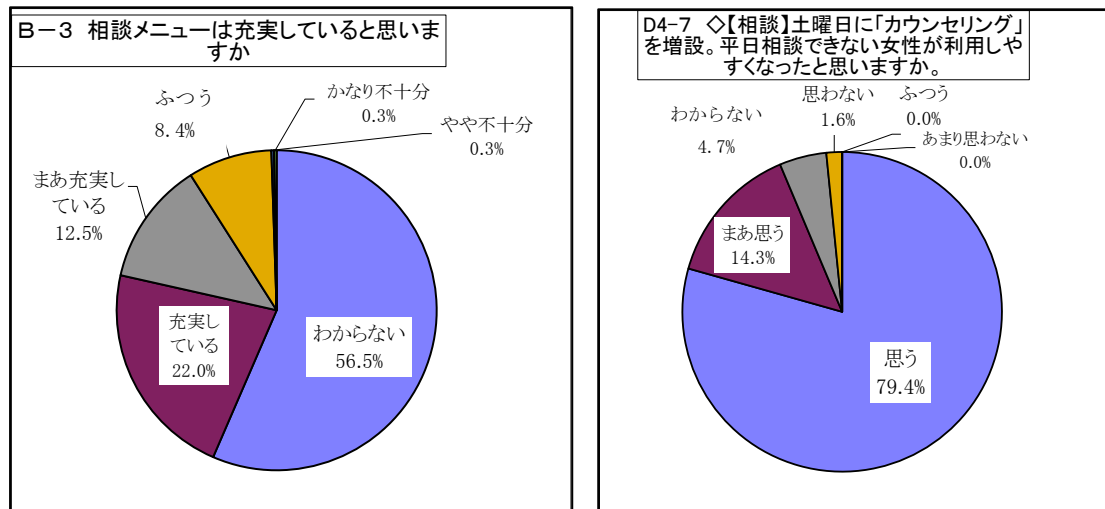
市民活動の活性化に向けた取組み

「すてっぷ登録団体事業助成金事業」と「若い世代支援事業助成金事業」（昨年度新設）を実施し、2018年度は計12団体の事業を支援しました。また、協賛事業等も多く活用されています。今後も市民活動支援制度を継続することで、活動拠点としてすてっぷを利用してもらい、市民活動の活性化につなげます。

（５）性別に起因する人権侵害及び悩みに関する相談

（アンケート設問 B2～3、D4-1～11）

女性相談だけではない相談メニューの充実



昨年度より新しく始めた「男性のための電話相談」を含めた相談メニューの充実についての設問では、「充実している」「まあ充実している」と回答した人の合計が 34.5%で、昨年度の数値 63.9%と比べ大幅に減少しています。

一方「わからない」と回答した人の割合が 56.5%と半数以上あり、昨年度の 26.2%より大幅に増加しました。すてっぷでは、女性のための相談だけではなく「男性のための電話相談」も行っていますが、多くの人に新しい相談メニューを知ってもらうための広報の工夫が必要だと改めて感じています。

相談を全て無料で行っていることを知っているかについての設問では、48.4%が「知っている」、51.6%が「知らなかった」と回答しています。「知っている」については昨年度の数値 44.6%から若干増加しており、「知らなかった」は 51.6%と昨年度の 55.4%より若干減少しています。すてっぷ相談室では無料で安心して相談を受けられることを知ってもらえるよう、引き続き周知に努めていきます。

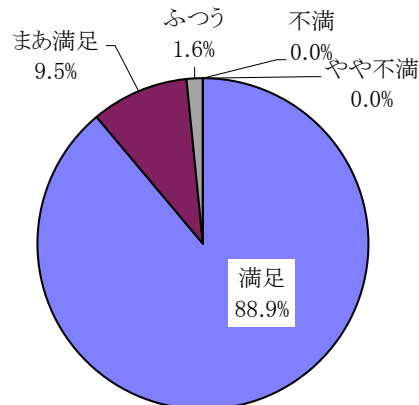
土曜日に増設した「カウンセリング」については、「利用しやすくなったと思う」「まあ思う」と回答した人の合計が 93.7%と、高い評価をいただいています。平日に仕事などで相談できない女性が利用しやすくなるよう、増設・開設した相談の認知度を高め、必要としている人に的確に届くよう努めていきます。

相談対応への高い満足度

相談員の対応満足度についての設問では、「満足」「まあ満足」を合わせると 98.4%と高い結果となりました。「誰にも話せない悩みを話せることで、整理ができ考えるきっかけになっている」「話すことで少しずつ自分自身と向き合えるようになった」「一歩前に踏み出すきっかけになった」などの声が寄せられています。相談者が前向きになれるよう気持ちを受け止めながら一緒に整理していく中で、自分の気持ちや考えに気づき、自ら行動していけるよう寄り添う相談員の対応が、相談者のエンパワメントにつながっていると考えられます。

受付職員の対応についての設問では、「満足」「まあ満足」を合わせて 96.9%となっています。相談員の対応とともに、高い満足度を得ています。

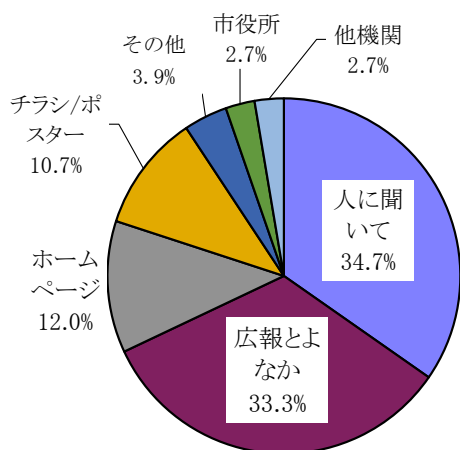
D4-5 ◇【相談】相談員の対応はいかがでしたか



相談室を知ったきっかけは口コミが多数

相談室を知ったきっかけでは、「人から聞いて」が最も多く 34.7%（昨年度 27.8%）「広報とよなか」による周知度が高く 33.3%（昨年度は 34.2%）でした。続いて、「ホームページ」が 12.0%（昨年度 11.4%）でした。

D4-1 ◇【相談】相談室を知ったきっかけ



相談者の身近な人（友人、家族、知人など）からすてっぷを紹介されたことが、相談室を知るきっかけとなっている現状がうかがえます。また、広報とよなかによる周知度も高く、より多くの人に相談室を知ってもらうことで口コミが広がる可能性が見えてきました。

また、ホームページを見て知った人は、昨年度に比べ増加しています。昨年度よりホームページのリニューアルを行い、わかりやすく伝えるにはどのようにすればよいのか工夫してきた結果が少しずつ表れているのではと感じています。

課題と今後の取組み

多様な相談メニューの充実を知ってもらえる広報

「男性のための電話相談」を含めたいろいろな相談メニューについて「分からない」という回答が過半数を超える数値となりました。一方、実際に相談室を利用している人からは「カウンセリングや弁護士相談も受けることができ、精神的に助かった」「話をきいてもらえて、学校に行ける回数が増えてきた」という意見が寄せられています。これは、アンケートを面接に来られた女性の相談者をお願いしていることも理由のひとつと考えられますが、性別を問わず相談を必要としている人に気軽に安心して相談してもらえるような広報の取組みが一層求められていると感じています。相談室を知るきっかけとなる広報とよなか、総合リーフレットや個別の相談チラシと配布方法、ホームページなど、これまで以上に工夫を重ねていきたいと考えています。

グループ相談会で求められるもの

相談室では毎年グループ相談会を実施しています。今回どんなテーマのグループ相談会なら参加してみたいかという設問では、1位「結婚・離婚」「子育て」「母娘関係」が同率17.0%、2位が「コミュニケーション」14.9%、続いて3位は「その他」10.6%という結果になりました。1位の「結婚・離婚」「子育て」は例年上位に挙がるテーマですが、今回は「母娘関係」が1位となりました。このようなデータ結果を踏まえ、グループ相談会のテーマに反映できるよう取組んでいきます。今年度の自由記述では、「夫婦関係」「介護」などの要望が寄せられました。

グループ相談会はアンケートに寄せられた意見も参考にしながら、毎年その時々に必要なと思われるテーマで実施しています。同じ悩みを持つ人同士が、安心して気持ちを話すことで解放され、自分ひとりではないという思いを共有する場となるよう企画しています。今後も参加者の気持ちに寄り添い、仲間とつながりながらエンパワメントできるようなグループ相談会を提案していきます。